

平成 25 年 3 月期 第 1 四半期連結決算概要

1. 連結決算実績 (24 年 4 月～24 年 6 月)

(1) 全体概要 (24 年 6 月末現在連結会社数：連結子会社 65 社、持分法適用関連会社 5 社) (単位：百万 m³、億円、円)

	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)	(参考)個別決算
ガ ス 販 売 量	3,496	3,532	△ 36	△ 1.0	3,245
売 上 高	4,426	3,767	659	17.5	3,936
営 業 利 益	458	166	292	175.4	361
経 常 利 益	495	163	332	203.1	432
四 半 期 純 利 益	317	89	228	254.2	271
1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益	12.34	3.38	8.96	265.1	10.55
1 株 当 たり 純 資 産	333.23	324.67	8.56	2.6	271.06

(注) 1株当たり純資産は24年3月期末との比較

<当四半期決算のポイント(対前年同期)>増収は3期連続、増益は3期ぶり。売上高は歴代1位(これまでの過去最高はH20)。

- ① ガス販売量は、震災後の落ち込みからの回復等により、家庭用需要及び業務用需要が増加したものの、連結子会社の電力事業向けガス販売の商流一部見直しに伴い工業用需要が減少したこと等により、1.0%減少しました。売上高は、原油価格上昇に伴う原料費調整による売上単価増(396億円)等により、都市ガス売上高が411億円増の3,285億円となったことに加え、電力需給逼迫時対応による電力販売の増加等その他エネルギー売上高が174億円増加したこと等から、17.5%増の4,426億円となりました。
- ② 営業費用は、ガス原材料費が原油高の影響により214億円増加したこと、及び電力販売の増加に伴う燃料費の増加等その他エネルギーに関わる費用が146億円増加したこと等から、10.2%増の3,968億円となりました。この結果、営業利益は175.4%増の458億円となり、これに営業外損益を加減算し、経常利益は203.1%増の495億円となりました。
- ③ これに加え、関係会社株式売却益35億円を特別利益、投資有価証券評価損38億円を特別損失として計上し(前年同期はいずれも計上なし)、法人税等を計上した結果、四半期純利益は254.2%増の317億円となりました。

(2) ガス販売量(販売量は45MJ/m³表記)

		当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)	
お 客 さ ま 件 数		千件	10,874	10,757	117	1.1
ガ ス 販 売 量	家 庭 用	百万m ³	895	887	8	0.9
	業 務 用	百万m ³	608	581	27	4.7
	工 業 用	百万m ³	1,525	1,601	△ 76	△ 4.7
	計	百万m ³	2,134	2,182	△ 48	△ 2.2
	他事業者向け供給	百万m ³	467	463	4	1.0
	合 計	百万m ³	3,496	3,532	△ 36	△ 1.0
平 均 気 温		℃	18.5	18.6	△ 0.1	—

- ① 家庭用需要は、ほぼ前年同期並みの0.9%の増加でした。
- ② 業務用需要は、震災後の落ち込みからの回復により既存設備の稼働が増加し、4.7%増加しました。
- ③ 工業用需要は、既存設備の稼働増等があったものの、連結子会社の電力事業向けガス販売の商流一部見直しの影響等により、4.7%減少しました。
- ④ 他事業者向け供給は、供給先事業者の需要増等により1.0%増加しました。

(3) 収支概要(都市ガス以外の内訳は「(4)部門別の概況」参照。全社費用は各事業に配賦不能の営業費用) (単位：億円)

収 益		増 減	増減率(%)	費 用		増 減	増減率(%)	
都 市 ガ ス	3,285	411	14.3	都 市 ガ ス	原 材 料 費	1,869	214	13.0
	そ の 他				933	△ 37	△ 3.8	
	計				2,803	178	6.8	
都 市 ガ ス 以 外	1,702	360	26.9	都 市 ガ ス 以 外	1,622	299	22.5	
事 業 間 内 部 消 去	△ 561	△ 113	—	全 社 費 用	112	3	2.8	
事 業 間 内 部 消 去	△ 561	△ 113	—	事 業 間 内 部 消 去	△ 570	△ 113	—	
売 上 高	4,426	659	17.5	営 業 費 用	3,968	367	10.2	
				営 業 利 益	458	292	175.4	
営 業 外 収 益	78	36	85.1	営 業 外 費 用	41	△ 4	△ 9.1	
				経 常 利 益	495	332	203.1	
特 別 利 益	35	35	—	特 別 損 失	38	38	—	
				四 半 期 純 利 益	317	228	254.2	

(4) 部門別の概況 (単位：億円)

	売 上 高				セグメント利益			
	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)
都 市 ガ ス	3,285	2,874	411	14.3	481	249	232	93.5
器具及びガス工事	424	338	86	25.5	4	—	4	—
その他エネルギー	751	577	174	30.2	28	1	27	—
不 動 産	75	72	3	2.8	16	13	3	30.3
そ の 他	450	353	97	27.6	29	3	26	656.6
都 市 ガ ス 以 外	1,702	1,342	360	26.9	80	18	62	335.0

(注) 売上高には事業間の内部取引を含んでおり、セグメント利益の算出には配賦不能営業費用を含んでいません。

(5) 主要計数

	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)
原 油 価 格 (\$/bbl)	122.57	115.00	7.57	6.6
為 替 レ ー ト (円/\$)	80.18	81.71	△ 1.53	△ 1.9
設 備 投 資 (億 円)	406	255	151	59.2
有 利 子 負 債 (億 円)	6,547	6,258	289	4.6
そ の 他 有 価 証 券 評 価 益 (億 円)	186	216	△ 30	△ 13.7
営 業 キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー (億 円)	647	446	201	45.0
R O A (%)	1.7	0.5	1.2	—
R O E (%)	3.7	1.1	2.6	—

(注1) 営業キャッシュ・フロー＝四半期純利益＋減価償却費等

(注2) 有利子負債、その他有価証券評価益は24年3月期末との比較

2. 通期(25年3月期)の業績予想

<業績予想のポイント>

- 業績予想は連結・個別ともに対前期「増収増益」の見通し。(以下は、対前回(4/27発表時)業績予想)
- 連結業績予想は主に個別の業績予想の見直しに伴い、売上高は3.7%減少、経常利益は43.8%増加の見通し。
- 個別業績予想のうちガス販売量は、工業用既存設備の稼働増等により0.6%増加の見通し。
- 原油安・円高に経済フレームを見直したため、原料価格下落に伴う原料費調整により売上単価が減少すること等から、ガス売上高は5.2%減少の見通し。一方、原材料費がガス売上高の減少を上回る12.1%の減少となること等により経常利益は62.7%増加の見通し。
- 経済フレームは、7月以降原油価格100\$/bbl、為替レート80円/\$と想定。

(単位：百万m³、億円)

	連結決算					(参考)個別決算				
	通期 業績予想	対前期 増減	対前期 増減率(%)	対前回(4/27発表時) 増減	対前回(4/27発表時) 増減率(%)	通期 業績予想	対前期 増減	対前期 増減率(%)	対前回(4/27発表時) 増減	対前回(4/27発表時) 増減率(%)
ガ ス 販 売 量	15,018	△ 172	△ 1.1	132	0.9	13,947	188	1.4	76	0.6
売 上 高	18,440	898	5.1	△ 700	△ 3.7	16,310	807	5.2	△ 640	△ 3.8
都 市 ガ ス	13,410	348	2.7	△ 697	△ 4.9	12,660	495	4.1	△ 700	△ 5.2
都 市 ガ ス 以 外	5,030	551	12.3	△ 3	△ 0.1	3,650	312	9.3	60	1.7
営 業 利 益	1,400	630	81.6	410	41.4	1,110	596	115.9	390	54.2
経 常 利 益	1,380	624	82.5	420	43.8	1,220	621	103.5	470	62.7
当 期 純 利 益	880	420	91.1	250	39.7	810	453	126.9	290	55.8

(注) 事業間の内部取引高は都市ガス以外の欄で調整しています。

<前提となる経済フレーム>

	今回 通期見通し	対前期		対前回(4/27発表時)	
		増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
原 油 価 格 (\$/bbl)	105.64	△ 8.53	△ 7.5	△ 14.36	△ 12.0
為 替 レ ー ト (円/\$)	80.05	0.97	1.2	△ 4.95	△ 5.8

(注1) 原油価格：前期実績114.17\$/bbl、前回見通し120.00\$/bbl 原油+1\$/bblの2Q以降への収支影響：△10億円(売上高19億円、原料費29億円)

(注2) 為替レート：前期実績79.08円/\$、前回見通し85.00円/\$ 為替+1円/\$の2Q以降への収支影響：△7億円(売上高49億円、原料費56億円)